

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 5年 5月11日更新

事務事業名	文化協会活動支援事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	3 教育の健康	所属部	教育委員会事務局	課長名 牧野 淳一	
	施策	10 生涯学習の推進	所属課	生涯学習課	担当者名 米村 大	
	施策の柱	38 生涯学習団体の育成	所属班	生涯学習班	(内線) 1512	
予算科目	会計一般	款 10	項 5	目 6	事業連番 10820	根拠法令
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	芸術・学術をはじめ文化の普及向上に関する活動を実施している合志市文化協会に運営支援を行うもの。合志市文化協会の歴史：旧西合志町は平成3年から支援補助を行い、旧合志町は昭和54年から支援補助を行っている。旧西合志町は基本的にコミュニティ単位でコミュニティ指導員のもと活動を行っていた。旧合志町では、文化団体の代表者で構成される合志町文化協会事務局のもと自主的に活動していた。合併に伴い、平成18年度中に文化協会の一歩化を進め、支部制(旧町文化協会をそれぞれ支部とする)により運営を行った。平成19年5月25日、支部制を廃し、一本化した合志市文化協会が設立した。
【業務の流れ】	市文化祭の会場設営委託、補助金交付申請の受理、審査、交付決定、支払、交付確定。
【主な予算費目】	13 委託料 19 負担金補助及び交付金
【意見や要望】	県下の同団体が会員確保に苦慮している中、本市の文化協会会員は増加しており、日頃の生涯学習に向けた取り組みが実っていると考えられる。年に一度開催する合志市文化祭の会場設営では、消費税増税に伴う資材の高騰や各地で開催されるイベントとの開催日程の重複により、縮小した会場設営を検討する必要がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	① 手段(主な活動) 5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
・市文化協会に補助金の交付を行った。 ・6月にふれあいコンサート「大野勝彦講演会・展示会」を行った。 ・11月12・13日に文化祭を実施した。	文化協会への補助金交付および文化祭会場の設営委託。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由	
ア 団体数	団体 R5より(11517)文化芸術自主事業実行委員会支援事業と統合	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
合志市文化協会	ア 協会所属団体数	団体
	イ 会員数	人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
合志市文化協会の自主運営支援を促進する。	ア 主催行事の開催回数	回
*③成果指標設定の理由と5年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
文化協会の活動支援の補助金であるため、協会が主体となっていく事業を成果指標として設定した。目標値は文化祭開催を予定し設定した。		全体計画
		～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア 団体	92	105	130	102	0	0	0	0
② 対象指標	ア 団体	92	105	130	102	0	0	0	0
	イ 人	1,100	1,200	1,250	1,221	0	0	0	0
③ 成果指標	ア 回	0	0	2	2	0	0	0	0
	イ								
投資	財源内訳								
	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
入費	一般財源	千円	518	492	1,852	1,790			
	(A) 事業費計	千円	518	492	1,852	1,790	0	0	0
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特別	千円	0	0	0	0	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	5	3	2	3	0	0	0
	延べ業務時間	時間	85	70	70	220	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)	(B)人件費計	千円	335	273	278	837	0	0	0
	千円	853	765	2,130	2,627	0	0	0	

事務事業名	文化協会活動支援事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	② 5年度目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 協会活動の充実を図り引き続き会員の増加を目指した取り組みを、協会と連携しながら図る。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 活動内容の充実を図り、所属団体の活性化を促す。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似した団体あるため
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 会費の増額や、加入団体の増加で対応が出来る。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 自主活動団体として、運営基盤が確立すれば、職員が関わる時間も削減できる。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 文化祭や発表会を通して、多くの市民に参加啓発を行っている。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 運営については協会の事務局が行っており妥当である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

団体数・会員数がともに減少したが、高齢化による役員のなりて不足の現状があり、組織的な見直しも必要不可欠である。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					